

トピックス2

イメージを織物企画に具現化

尾張繊維技術センターが開発

「How to 織物創作」

アパレルやテキスタイルの企画者がイメージする織物の外観を元に、その作り方を分かり易く解説した織物企画支援ツール「How to 織物創作」が誕生した。愛知県産業技術研究所・尾張繊維技術センターが開発したもので、各分野から問い合わせが殺到している。

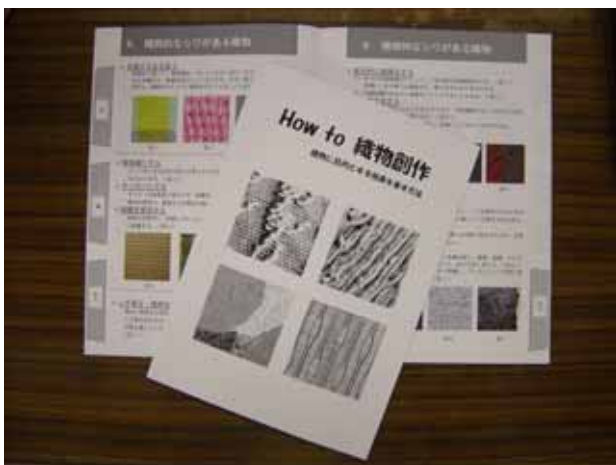
アパレルやテキスタイルの織物企画者は、さまざまな内外のトレンドを収集し、織物の外観をイメージしては、商品化する織物設計を行うが、ここで多大な労力や神経を使う。この「How to 織物創作」は、例えば「毛羽の少ない織物」、「ループがある織物」など代表的な外観イメージの織物について、その

作り方を分かり易く解説したもの。

ツールの構成は 代表的な外観イメージの織物の作り方について糸、織り、加工の技術区分ごとに分かり易くまとめた「マニュアルブック」 マニュアルブックの内容とともに、過去の類似織物見本を検索する「データベース」からなっている。

マニュアルブックの内容

- 1、毛羽の少ない織物
- 2、全体に透き目がある織物
- 3、部分的に透き目がある織物
- 4、糸が蛇行する織物
- 5、かすり模様がある織物
- 6、光沢、光沢変化のある織物
- 7、チリメン状のシボのある織物
- 8、規則的なシワがある織物
- 9、模様のシワのある織物
- 10、ふくれ模様がある織物
- 11、アゼがある織物
- 12、毛羽がある織物
- 13、ループがある織物
- 14、特異な織物（ヒダがある、密度差がある）
- 15、同（インディアンカット、裏切、あんこ入りラペット織り、ヘアピン織り）
- 16、同（組織+プリント、墨流し染め、顔料プリント、オパール加工、フロック加工、刺繍）



これらについて糸、織り、加工の技術ポイントを94項目にわたって解説している。

またデータベースは織物見本175点の中から90語のトレンド情報のキーワードで検索して、該当する織物の情報を表示するうえ、見本帳も閲覧できる。

この結果、イメージが素早く具現化でき、織物企画の参考にすることで、オリジナル性が高く、幅広い商品企画が可能になる。とりわけ、経験の浅い企画者にとってはよい教材にもなる。